



高橋前会長に感謝の花束を贈呈する白根澤会長

## 音償要求同盟 回大会



新任のあいさつをする白根澤澄子新会長



「不屈」No. 578付録

山形県版 No. 396

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟

山形県本部

〒994-0073

天童市寺津263

瀬野幸男方

TEL. FAX.

023-654-3255

運動の前進を決意し団結ガンバ  
ローを三唱



# 第三十六回山形県本部大会開く

高橋嘉一郎会長が退任、白根澤澄子副会長が新会長に

大会は、安倍晋三元首相の国葬に反対、「戦争する国づくり」につながる改憲発議を許さず日本国憲法を守り抜くとする「特別決議」を採択。白根澤澄子新会長をはじめ2022年度県本部役員を選出しました。

県本部結成三十五周年、県民に根ざした同盟運動の前進を！  
第36回山形県本部大会が7月30日、山形市男女共同参画センター「ファアラ」において、10支部から代議員33名が参加して（コロナ禍のため規模を縮小）行われました。当初、午前中に、吉田万三中央本部新会長の講演会を企画しましたが、前日会長から体調を崩したとの連絡があり、講演会を中止し大会に変更しました。最上健造中央本部副会長・秋田県本部会長が中央本部を代表してあいさつを述べました。

- 私たちの運動の基本  
ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- ① 治安維持法体制の復活に反対する。
  - ② 国は、戦前の治安維持法が、人道に反する悪法であつたことを認めること。
  - ③ 国は、治安維持法犠牲者に、謝罪と賠償を行うこと。

## 大会概要

■白根澤澄子副会長が開会のあいさつ、講演会中止について説明し、この一年間で亡くなられた会員のご冥福を祈って黙祷を捧げました。

◆物故者「広谷正紀、田中光雄、齊藤幸悦（山形支部）、阿部正義、志鎌譲治（酒田支部）、八鍬朋克（天童支部）、遠藤宏司（北村山支部）」

高橋嘉一郎会長の会長あいさつに引き続いて、最上健造中央本部副会長が中央本部を代表して「署名運動で全国を牽引している山形県本部の更なる前進を」と激励のあいさつを述べました。

日本共産党の本間和也山形県委員長が「平和と民主主義のために奮闘されてきた国賠同盟の皆さんとの協力・共同をいっそう深めたい」と連帯のあいさつを述べました。山形県労連と国民救援会山形県本部からのメッセージが紹介されました。

■高橋会長は、昨年から体調を崩し活動ができなかったことをお話しした後、安倍政治を美化し、国民の

内心の自由を侵す「国葬」に断固反対と述べました。また、参議院選挙で改憲勢力が3分の2の議席を獲得、戦争か平和かの戦後最大の危機に立つ今、国賠同盟は「ふたたび戦争と暗黒政治を許さない」を高く掲げ、憲法改悪阻止国民大運動の一翼として全力でたたかおうと訴えました。

■村上キヨエ（東置賜）、海老名傑（西置賜）両代議員を議長に選出し、議事に入りました。瀬野幸男事務局長が「活動報告と活動方針（案）」「規約の一部改正（案）」、山川隆事務局長が「2021年度収支決算報告」・「監査報告」、2022年度予算（案）を提案。さらに瀬野事務局長が高橋会長、国井浩丞、戸村昌也両副会長が身体の都合で退任に至った経過を説明した後、「2022年度県本部役員推薦名簿」（8頁掲載）を提案、討論に入りました。

■瀬野事務局長は、県版「不屈」6月号に発表した「活動報告と活動方針（案）」を情勢の変化を踏まえて、一部修正・追加を行い、補足的に報告・提案しました。

## 一部修正、追加の箇所

▼3頁下段の「戦争か平和か、戦後最大の岐路に立っている今、国民の改憲勢力3分の2議席を阻止するため全力をあげます。」を「参議院選挙の結果は、参議院においても3分の2以上の議席を占め、憲法改悪を早期に実現しようとする動きが急速に進行しています。戦争か平和か、戦後最大の岐路に立っている今、国賠同盟は「ふたたび戦争と暗黒政治を許さない」のスローガンを高く掲げ、「憲法改悪阻止国民大運動」の一翼として全力でたたかいます。」と修正。

▼4頁中段「……舟山康江、芳賀道也、岩淵友の各参院議員と高橋千鶴子衆院議員に署名を託し、紹介議員承諾を要請しました。」の次に「その結果、以上4人は紹介議員を承諾。今年度の紹介議員は、衆議院78名、参議院42名、合計120名となりました。」を追加。▼4頁下段の「6月の全国大会までに全支部で会員を増員し、……40

0人達成に挑戦します。」を「県本部、支部の役員会では必ず会員拡大を議論し、一刻も早く最高時の367人（2014年）を超え、今年度こそ400人達成をめざします。」に修正。

## 補足的報告・提案

①役員・指導部の世代継承、会員拡大が喫緊の課題 ②全会員の署名活動参加が目標達成のカギ ③存命の犠牲者がいなくなるとうとしている「転換期」を迎え、「今、何故、国賠運動か？ 国賠署名・国会請願か？」の学習運動の推進 ④犠牲者の掘り起しと顕彰活動、特に、「村山俊太郎とひでの顕彰碑建設」募金活動（実行委員会事務局発行のパンフレット参照） ⑤映画「伊藤千代子」の上映運動と会員拡大（山形上映会でも入会申し込み） ⑥地方議会への請願の推進。

■討論では6人の代議員が発言。瀬野事務局長が「討論のまとめ」を行い、全議案が賛成多数で原案通り採択されました。22年度県本部役員推薦名簿は拍手で承認され

## 村山俊太郎とひでの顕彰碑建設募金のお願ひ

募金は、①任意の「個人募金」、②同盟山形県本部の「団体募金」20万円とします。〈団体募金は、会員一人当たり300円を目安に各支えました。〉

「特別決議」（佐藤哲代議員朗読）が採択された後、最上健造中央本部副会長が「署名運動に関する発言が多いのが山形の特徴。会員が国賠に入って喜んでくれるか、ためになったと思っているかがカギ。それには学習と顕彰活動（犠牲者に光を当てる）が重要」と感想を述べました。

■今大会で退任する役員を代表し、高橋嘉一郎さんが「人間としてあるまじき待遇を受けながら不屈にたたかう治安維持法犠牲者について学ぶことができた。今後とも活動を続ける」とあいさつ。その後、大きな拍手の中、白根澤澄子新会長から花束が贈られました。白根澤新会長が「みなさんと力

## 部が納入

10月末まで、県本部事務局に納入（任意の「個人募金」は直接、実行委員会事務局の振込先に振り込んでいただいても差し支えございません。）

を合わせて頑張っていく」と決意が述べられ、「ガンバロー」を三唱しました。最後に、菊池喜英新副会長が閉会のあいさつを述べ、大会が終了しました。

## 代議員発言(要旨)



米沢支部 須貝健一 署名数は支部目標の半分。例年、米沢平和セン

ター・市役所職員組合から目標の約半分を集約していたが、21年度は取り組んでもらえなかった。委員長も変わり、国賠署名について懇談を持ってもっと繋がる必要がある。また、全会員に署名活動の意義を伝えきっていない。この1年間で女性1名拡大したが、同盟運動の裾野を広げ、自然減を上回る会員拡大

に取り組む必要がある。(須貝氏は代議員として参加した全国大会の報告も行いました。)

### 鶴岡田川支部 岩城 充

コロナ禍で署名数が減少している中、集会がある時は欠かさず取り組む。一人5筆・10筆の協力を支部版「不屈」で訴えたことに山奥の会員が近所から集めてくれる等で、何とか1,000筆(目標1,200筆)を超える署名を集めることができた。役員2人倒れ実質6人で月1回の役員会を開き意思統一。支部版「不屈」は7月で294号、300号近し、毎月15日を発行日として、編集・配達体制をとり、手配りを基に、出来ないところは郵送している。



東置賜支部 伊沢 良治  
高島町は町民の要求を取り上げない独善的な寒河江町長による町政が続いた。「町政を変えたい」

という町民の願いが、5期目をめざした現職の町長を新人高梨氏が破った。この選挙戦で、簡潔明快な町民の要求チラシが大きな力を発揮し、町民の心にとどいた。こうした取り組みができた背景に、平和・生活要求運動等で日常的な町民とのつながり、一人ひとりの草の根のたたかい、市民と野党の統一した力があつたからである。(国賠同盟も全力で取り組む)

### 北村山支部 菅野 真治



衆院選で1区・2区の市民と野党の統一候補を、3区は国賠会員候補を推薦し闘ったがいずれも勝利できなかった。参院選は全国的に野党共闘が不十分、山形ではブラック自民に議席を渡したくないとグレー国民(反自民、半自民の意味)の舟山議員に希望的期待を込めた県民も多かったのでは。

改憲勢力に3分の2を許してしまつたが、9条改憲や軍事強化路線が信任されたのではない。改憲の企て

を阻止し、いのちと暮らしを守る政治の実現を求め、大きく運動を広げなければならぬ。国賠同盟も伊藤千代子の上映運動を通してもっと幅広い活動になるように追及していきたい。

### 西置賜支部 青木 慶一



個人署名は、力持ち会員に頼り切って、各会員はそれを若干上乗せするという状況が続いた。まず、これを改善しなければならぬ。また、民主団体へ積極的に働きかけすることもしないできた。これまでの様々な運動の繋がりを生かし、各種団体に対する署名の依頼を進めて行きたい。



映画「伊藤千代子」を観賞した方が同盟へ入会を申し出た。呼びかければ応えてくれる人がいる。意識的に拡大を進めたい。

### 山形支部 青木 勝

山形支部の会員は一時97名まで到達したが、

その後、亡くなる人が多く77名まで減少した。署名も一部の会員だけの取り組みになっている。支部の役員体制の強化が求められているが、極めて厳しい状況にある。今年こそ、「不屈」や会費でのつながりを大切に、すべての会員が参加する活動と会員拡大をめざして本格的に取り組んでいく。

### 【初参加者の感想】

#### 第36回県本部大会に参加して

#### 西塔いく子 山形支部・中山町

県本部大会の代議員として初めて参加しました。正直、殆ど活動をしていない私ですので、ためらいもありましたが、皆さんの話を聞かせてもらうことが、今の社会情勢を考えた時、力になるのではないかと出席しました。中山町の事を考えてみて、安維持法の犠牲者はかなり前から一人もいなくなっている中で謝罪や賠償を求めていくということはどのようにしていけばよいのか、と足が出ませんでした。以前「町に請願を出したい」という要請があつたときにも、提出者となる町民の方から

も「町には一人もいなくなっている中での請願はどうだろうか」という事などもありそのままになってしまいました。

しかし、今回の大会で、前会長の高橋嘉一郎さんは、黙々と、もちろん対話をしながら、全国でも一番多い署名を集めていることを知り驚きました。「国民を苦しめた治安維持法は絶対許さない」という前会長の強い信念の表れだと思えます。討論の中でも、支部の方々が署名をいかに広げるかを真剣に考えている発言には感動でした。

悪法・治安維持法に命がけて信念を曲げず生き抜いた人々の姿は私の想像を超えるもので、やはりこの方達を埋もれさせてはなりません。治安維持法は「政治的自由への弾圧と人道に反する悪法」として廃止したのであれば、治安維持法犠牲者に対する謝罪と賠償は当然行すべきではないかと思えます。

今また、不穏な動きがある中で、数の力で同じようなことが繰り返されるのではないかと危機感を感じま

す。若い方にも声を掛けて学習の場なども設定していただきたいと思えます。

### Ⅱ 特別決議Ⅱ

#### 「戦争する国づくり」につながる

#### 改憲発議を許さず 日本国憲法を守り抜こう!

7月10日投票の参議院選挙は、自民党など改憲勢力が憲法改正発議に必要な3分の2の議席を獲得しました。岸田文雄首相は、記者会見で「国会で憲法論議を深めて発議できる案をまとめた」と、改憲へ前のめりの姿勢を示しました。しかし、選挙直後の共同通信アンケート調査によれば、有権者が投票に際して重視していたことは「物価・経済対策」42・6%、「年金・医療・介護」12・3%などであり、「憲法改正」は5・6%にとどまっています。また、「憲法改正を急ぐべきだ」は37・5%だったのに対し「急ぐ必要はない」は58・4%で、有権者は憲法改正に慎重な姿勢を示しており、国民の意向を尊重すべきです。

岸田首相は安倍晋三元首相の国葬も利用し、改憲を推進しようとしています。岸田政権は22日、参議院選挙中銃撃され亡くなった安倍元首相について、9月27日に国葬を行うことを閣議決定しました。岸田首相は、安倍元首相が「憲政史上最長の8年8か月にわたり」「内閣総理大臣の重責を担い」、内政外交で「大きな実績を残された」とのべました。さらに、「安倍元総理の思いを受け継ぎ」「拉致問題や憲法改正に取り組んでいきます」と語っています。安倍氏は9条改憲の旗を振り、集団的自衛権行使容認の閣議決定をし、安保法制を強行するなど「戦争する国づくり」を進めました。安倍政治に厳しい批判があるにもかかわらず国葬を行うという事は、安倍政治を国家として美化・礼賛することになります。国葬は安倍氏への弔意の強制になる危険があり、内心の自由を犯すことにもなりかねません。安倍元首相の国葬に反対し、閣議決定の撤回を求めます。

そもそも内閣は改憲の過程に一切

関与できないのです。憲法第99条で国務大臣は「憲法を尊重し擁護する義務を負」っているものであり、首相が改憲を主導ことなどあつてはなりません。

自民党改憲案の9条に自衛隊保持を書き込むことや緊急事態条項の創設は、国民の基本的人権を制限し集団的自衛権を全面的に行使できるようにすることであり、「戦争できる国」、戦前の再来にほかなりません。

### 映画「伊藤千代子の生涯」感想

高橋真知子 山形支部

私の祖母は94歳で健在だ。伊藤千代子が亡くなる前年の生まれである。彼女が社会の矛盾に気付いて学び、活動した時間は本当に短かった。映画では、一緒に学び、たたかった女性活動家の姿も描かれている。祖母はまだ赤ちゃんの頃、女性が選挙権もない頃に、このように社会に目に向けて学習し、実際に行動した女性達がいたことに、心を動かされた。弾圧はとても怖かったに違いないが、

治安維持法犠牲者などの国民主権、反戦平和を求める不屈のたたかいが実ったのが日本国憲法です。戦前のたたかいを無駄にするわけにはいきません。私たちは平和・民主主義を大切にすると団体・個人と力を合わせ、改憲発議を許さず日本国憲法を守り抜きます。以上、決議します。

2022年7月30日

治安維持法犠牲者国家賠償要求  
同盟山形県本部第36回大会

彼女たちの行動はこうした時代だったからこそ、やむにやまれず生まれたいことがよく伝わった。

今の日本は憲法もでき、形の上では平和、基本的人権、国民主権が守られる国になった。でも実際はどうだろう。千代子たちが目指した世の中には、いまだほど遠い。世界の戦争危機に、憲法9条がゆらぐ国では、安心して暮らすことはできない。

私が学生の頃、仲間と一緒に高い学費を考えるアンケートなど学内で行くと、大学側からチラシを取り上

前の日常や  
未来が突然奪われました。

あれから77年経ちました。

今この瞬間も、日常を奪われている人たちが世界にはいます。戦争は、昔のことではないのです。

自分が優位に立ち、自分の考えを押し通すこと、

それは、強さとは言えません。

本当の強さとは、違いを認め、

相手を受け入れること、

思いやりの心を持ち、

相手を理解しようとする事です。

本当の強さをもてば、戦争は起こらないはず。

過去に起こったことを変えることはできません。

しかし、未来は創ることが出来ます。

悲しみを受け止め、立ち上がった被爆者は、

私たちのために、平和な広島を創ってくれました。

### 【広島平和祈念式典】

(8月6日 広島市)

#### 広島子ども代表「平和への誓い」

あなたにとって 大切な人は誰ですか。

家族、友だち、先生。

私たちには、大切な人がたくさんいます。

大切な人と一緒に過ごす。笑い合



「平和への誓い」を読み上げる、山崎鈴さん(左)とバルバラ・アレックスさん

う。  
そんな当たり前の日常はとても幸せです。

昭和20年(1945年)8月6日  
午前8時15分。

道に転がる死体。

死体で埋め尽くされた川。

「水をくれ。」「水をください。」

という声。

大切な人を一瞬で亡くし、当たり

今度は私たちの番です。

被爆者の声を聞き、思いを想像すること。

その思いをたくさんの人に伝えること。

そして、自分も周りの人も大切に、

お互いに助け合うこと。

世界中の人の目に、

平和な景色が映し出される未来を創るため、

私たちは、行動していくことを誓います。

令和4年(2022年)8月6日

広島市立幟町小学校6年

バルバラ・アレックス

広島市立中島小学校6年

山崎 鈴

(「赤旗」8月7日付より転載)



## 2022年度治安維持法同盟山形県本部役員名簿

| 役職    | 氏名     | 支部   |
|-------|--------|------|
| 会長    | ○白根澤澄子 | 米沢   |
| 副会長   | ○菊池 喜英 | 上山   |
| 事務局長  | 瀬野 幸男  | 天童   |
| // 次長 | 山川 隆   | 山形   |
| // 次長 | 福島 憲一  | 上山   |
| 常任理事  | ○青木 勝  | 山形   |
| 常任理事  | 岩城 充   | 鶴岡田川 |
| 常任理事  | 佐藤 良和  | 酒田   |
| 常任理事  | 須貝 健一  | 米沢   |
| 常任理事  | 佐藤 哲   | 西村山  |
| 常任理事  | 菅野 真治  | 北村山  |
| 常任理事  | 村上キヨエ  | 東置賜  |
| 常任理事  | 海老名 傑  | 西置賜  |
| 理事    | ○鈴木 正晃 | 山形   |
| 理事    | 菊池 克三  | 鶴岡田川 |

| 役職 | 氏名     | 支部   |
|----|--------|------|
| 理事 | ○元木 章  | 酒田   |
| 理事 | 瀬戸山京子  | 天童   |
| 理事 | 鈴木 淳子  | 米沢   |
| 理事 | ○高橋 俱子 | 西村山  |
| 理事 | 大場 總   | 北村山  |
| 理事 | 伊沢 良治  | 東置賜  |
| 理事 | 青木 慶一  | 西置賜  |
| 監事 | 三澤 寛   | 山形   |
| 監事 | 鈴木理枝子  | 山形   |
| 顧問 | 石垣 政志  | 北村山  |
| 顧問 | 鈴木 光子  | 山形   |
| 顧問 | 石塚 知二  | 鶴岡田川 |
| 顧問 | ○高橋嘉一郎 | 山形   |
| 顧問 | ○国井 浩丞 | 西村山  |
| 顧問 | ○戸村 昌也 | 鶴岡田川 |

○は新任

敬称略